

平成12年度事業報告書

自 平成12年4月1日

至 平成13年3月31日

【 概 況

この一年わが国経済は、長期にわたる低迷で、依然として回復の兆しが見えず厳しい状況で推移しました。しかし一方では余暇時間の増加や高齢化社会の進展等社会状況の変化を背景に、「心の豊かさとゆとり」ある生活を送る為に、様々なスポーツ活動を積極的に実践しようとする気運が高まっております。スポーツは益々身近なものになり、健康増進への欲求はさらに拡大するものと予想されます。

当財団は設立以来20年を経過し、本年度もその事業目的であるスポーツ科学の研究助成並びにオリンピック事業の推進、トップレベルの選手育成・強化を目的とした団体、また同時に国民スポーツのより一層の健全な普及・発展に寄与することを目的とした団体への助成を中心に活動を行うなど、関係者各位のご支援により所期の目的を達成することができました。

さらに、機関誌として「デサントスポーツ科学」Vol.21を刊行し前年度の事業成果を広く公表いたしました。

【 研究及び助成報告

(1)健康の増進と体力の向上及びスポーツ関連科学に関する研究委託並びに調査・研究に対する助成。

1) 研究委託(200万円)

理事会の諮問機関である学術委員会において慎重に審議した結果、平成12年度の学術研究課題として、以下が最もふさわしいものとし、理事会の承認を得て研究委託を行いました。

「スポーツの場における喫煙の害に関する基礎的研究」

研究リーダー 富山大学

山地 啓司

2) 課題研究(100万円)

学術委員会・選考委員会選定テーマ「ヒトの機能を補う方法とスポーツ」についての調査・研究に対する助成で、審議の結果、応募総数10件のうち、下記1件に対し助成を行いました。

「異なる被服圧が有酸素運動能力に及ぼす影響」

研究リーダー 奈良女子大学

芝崎 学

3) 自由課題研究 (総額 940 万円)

体育学・健康科学・人間工学・被服科学・運動施設工学等健康の増進と体力の向上に関わる学術及びその他広くスポーツ振興に寄与する学術研究に関する講座をもつ大学、これに準ずる研究機関に所属する個人またはグループ、及び高校生から幼児までの教育機関に奉職しており、前述した分野で研究または調査活動を行っている個人またはグループに対し公募いたしました結果、137 件にのぼる応募の中から当財団学術委員会選考委員によりまして慎重かつ厳正に審査を行ない、次の 23 件に決定、理事会の承認を得て研究助成を行ないました。

最優秀入選 (100 万円)

「高齢者におけるレジスタンストレーニングのインスリン作用に及ぼす影響」

名古屋大学

北村 伊都子

優秀入選 (各 50 万円)

「運動による糖代謝活性化の分子機構に基づいた新しい運動プログラムの開発」

京都大学

林 達也

「Perfusing a tube-lined suit のスポーツ現場応用に関する基礎的研究」

京都工芸繊維大学

芳田 哲也

「インスリン抵抗性改善のための運動・食行動変容プログラムによる長期介入研究」

九州大学

熊谷 秋三

「脊椎損傷者の車椅子テニス実施時における体温調節反応に関する研究」

広島大学

山崎 昌廣

「体幹部スポーツウェアの体幹位置覚・スポーツパフォーマンスへの影響」

岐阜大学

宮本 敬

「軽強度の運動が脳活動に与える影響」

東北大学

藤本 敏彦

入選（各40万円）

「ベッド上での下肢運動に伴う筋ポンプと呼吸の影響について」

東京医科大学

長田 卓也

「幼少期の筋力トレーニングが、その後の成年期及び老年期の筋力トレーニング効果に及ぼす影響」

東京大学

山田 茂

「精神分裂病患者の体力と運動療法」

聖マリアンナ医科大学

横浜市西部病院

武田 秀和

「運動開始前に過ごす明るさが超最大運動でのエネルギー供給機構に及ぼす影響」

名古屋工業大学

大桑 哲男

「寒冷環境下での運動による末梢皮膚血流変化と「冷え感」について」

武庫川女子大学

伊佐治 せつ子

「低酸素トレーニングによる緩衝能の改善が高強度運動パフォーマンスに及ぼす影響」

筑波大学

伊藤 穰

佳作入選（各30万円）

「運動後の疲労回復過程に及ぼす中心循環血液量増加の生理学的効果」

大阪大学

宮本 忠吉

「若年スポーツ選手と高齢者における骨塩量の個人差と運動習慣の骨に与える効果についての研究」

鹿屋体育大学

赤嶺 卓哉

「血中 DHEA 濃度の個人差と抗酸化機能について」

国立健康・栄養研究所

武安 典代

「年少時のスポーツビジョンの個人差は生得的か、運動経験に起因するか」

愛知工業大学

石垣 尚男

「心拍ゆらぎ非線
型解析によるスポーツメディカルチェック」

山形大学

八巻 通安

「ランニング・シューズの選択法と使用限度の決定法に関する研究」

東京工業大学

田中 克昌

「思春期生徒における骨密度の増加スパートの経年観察と運動及び食生活影
響」

辻学園

楠 知子

「スポーツウェア素材の伸張回復性と人の脳波との関連」

金沢大学

松平 光男

「水中環境下での脚筋力トレーニングは筋血流制限下のトレーニングと言え
るのか」

国土館大学

須藤 明治

「転倒に恐怖心を抱く高齢者の身体活動量と ADL 評価値との関連について
日常生活の活動制限の実態と ADL に及ぼす影響」

社会福祉法人みまき福祉会

上岡 洋晴

以上、研究委託 1 件、課題研究 1 件及び自由課題研究 2 3 件の研究成果報告に
つきましては、平成 1 3 年 6 月発行予定の機関誌「デサントスポーツ科学」Vol.
2 2 において広くわが国の研究機関、関係者に公表いたします。

(2)スポーツ科学の国際交流を目的とする団体の助成（100万円）

諸外国とのスポーツ科学における人的・学問的交流を積極的に推進するため、
日本体力医学会国際交流基金への助成を行いました。

(3)スポーツの振興・発展を目的とする団体の助成（500万円）

オリンピック事業の推進ならびにトップレベルの選手育成・強化を目的とし
財団法人日本オリンピック委員会に、また、国民スポーツのより一層の健全な普
及・発展に寄与することを目的として財団法人日本体育協会にそれぞれ250万
円の助成を行いました。

(4) アンチ・ドーピング活動推進のため、国内調整機関の財団法人設立に対し、
200万円の寄附を行いました。

【 】活動報告

(1)機関誌「デサントスポーツ科学」Vol.21 発行

平成 12 年 6 月

(2)第 22 回定時総会及び助成金目録贈呈式

日時： 平成 12 年 6 月 8 日（木）

11:30～12:00 理事会・評議員会

12:00～12:30 助成金目録贈呈式

12:30～13:30 懇親会

場所： 株式会社 デサント 東京支店

議題： 平成 11 年度事業報告書承認の件

平成 11 年度収支決算書承認の件

平成 12 年度収支予算書修正承認の件

評議員補充選任の件

その他

(3)アンチ・ドーピング活動推進のための国内調整機関の財団法人設立に対し、

寄附金支出 平成 12 年 6 月 12 日

(4)第 9 回課題学術研究、第 22 回自由課題学術研究委託及び自由課題学術研究

助成金交付 平成 12 年 7 月 10 日

(5)日本体力医学会国際交流基金への寄附金支出

平成 12 年 8 月 4 日

(6)第 10 回課題学術研究及び第 23 回自由課題学術研究公募開始

平成 12 年 9 月 1 日

(7)第 9 回課題学術研究、第 22 回自由課題学術研究委託及び自由課題学術研究

成果報告書提出締切

平成 12 年 11 月 25 日

(8)第 10 回課題学術研究及び第 23 回自由課題学術研究公募締切

平成 12 年 11 月 10 日

(9)第 10 回課題学術研究及び第 23 回自由課題学術研究公募申請書審査

平成 12 年 11 月 10 日～平成 13 年 2 月 10 日

(10)財団法人日本オリンピック委員会ならびに財団法人日本体育協会への寄附金
交付 平成 12 年 12 月 25 日

(11)学術委員会・選考委員会

日時： 平成 13 年 2 月 27 日（火） 12:00～14:00

場所： 株式会社 デサント 東京支店

議題： 第 23 回自由課題学術研究委託テーマ選定の件
第 10 回課題学術研究公募審査の件
第 23 回自由課題学術研究公募審査の件
第 11 回課題学術研究テーマ選定の件
その他

(12)理事会・評議員会

日時： 平成 13 年 3 月 26 日（月） 10:00～11:00

場所： 株式会社 デサント 大阪本社

議題： 平成 13 年度事業計画書案承認の件
平成 13 年度収支予算書案承認の件

以上

収 支 計 算 書

平成12年4月1日から平成13年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
収 入 の 部				
1. 基本財産運用収入	(25,450,000)	(21,123,847)	(4,326,153)	
基本財産利息収入	16,450,000	16,555,618	△ 105,618	
基本財産配当金収入	9,000,000	4,568,229	4,431,771	
2. 雑 収 入	(50,000)	(60,861)	(△10,861)	
受 取 利 息	50,000	50,361	△ 361	
雑 収 入	0	10,500	△10,500	
3. 特定預金取崩収入	(30,900,000)	(8,900,000)	(22,000,000)	
助成金積立預金取崩	30,900,000	8,900,000	22,000,000	
当期収入合計	56,400,000	30,084,708	26,315,292	
前期繰越収支差額	18,163,773	18,163,773	0	
収入合計	74,563,773	48,248,481	26,315,292	
支 出 の 部				
1. 事 業 費	(30,900,000)	(29,992,233)	(907,767)	
(1) 課題研究費	1,000,000	1,000,000	0	
(2) 委託研究費	2,000,000	2,000,000	0	
(3) 助成金支出	9,400,000	9,400,000	0	
(4) 寄附金支出	8,000,000	8,000,000	0	
(5) 資料収集調査費	2,000,000	1,505,000	495,000	
(6) 印刷製本費	8,500,000	8,087,233	412,767	
2. 管 理 費	(4,990,000)	(4,140,402)	(849,598)	
(1) 給与手当	1,040,000	1,155,552	△ 115,552	
(2) 会議費	1,850,000	1,579,624	270,376	
(3) 旅費交通費	1,500,000	1,179,000	321,000	
(4) 通信運搬費	100,000	61,580	38,420	
(5) 消耗品費	100,000	0	100,000	
(6) 印刷製本費	100,000	0	100,000	
(7) 雑 費	300,000	164,646	135,354	
3. 特定預金支出	(28,900,000)	(11,000,000)	(17,900,000)	
助成金積立預金	28,900,000	11,000,000	17,900,000	
4. 予 備 費	(500,000)	(0)	(500,000)	
当期支出合計	65,290,000	45,132,635	20,157,365	
当期収支差額	△ 8,890,000	△15,047,927	6,157,927	
次期繰越収支差額	9,273,773	3,115,846	6,157,927	

正味財産増減計算書

平成12年4月1日から平成13年3月31日まで

(単位：円)

科 目	金 額		
増 加 の 部			
1.資産増加額			
助成金積立預金	11,000,000	11,000,000	
増 加 額 合 計			11,000,000
減 少 の 部			
1.資産減少額			
当期収支差額	15,047,927		
助成金積立預金取崩	8,900,000	23,947,927	
減 少 額 合 計			23,947,927
当期正味財産減少額			12,947,927
前期繰越正味財産額			635,200,923
期末正味財産合計額			622,252,996

貸借対照表

平成13年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額	
資 産 の 部		
1.流動資産		
(1)普通預金	3,115,846	
流動資産合計		3,115,846
2.固 定 資 産		
(1)基 本 財 産		
定期預金	100,572,877	
投資有価証券	475,564,273	
基本財産合計	576,137,150	
(2)その他の固定資産		
記念事業積立預金	10,000,000	
助成金積立預金	33,000,000	
その他の固定資産合計	43,000,000	
固定資産合計		619,137,150
資 産 合 計		622,252,996
負 債 の 部		
正味財産の部		
正味財産		622,252,996
(うち基本金)		576,137,150
(うち当期正味財産減少額)		12,947,927
負債及び正味財産合計		622,252,996

計 算 書 類 に 対 す る 注 記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法について

投資有価証券 …… 総平均法による原価法を採用している。

(2) 資金の範囲について

資金の範囲には、現金預金（基本財産となるもの及び特定預金を除く）及び未収金・未払金など短期債権・債務を含めることにしている。なお、前期末及び当期末残高は

3. に記載のとおりである。

2. 基本財産の増減及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
定期預金	100,572,877	0	0	100,572,877
投資有価証券	475,564,273	0	0	475,564,273
合計（基本金）	576,137,150	0	0	576,137,150

3. 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	前 期 末 残 高	当 期 末 残 高
現 金 預 金	18,163,773	3,115,846

財 産 目 録

平成13年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金	額
資 産 の 部		
1.流動資産		
現金	0	
普通預金 住友銀行船場支店	3,115,846	
流 動 資 産 合 計		3,115,846
2.固定資産		
(1)基本財産		
定期預金 住友銀行船場支店	572,877	
北國銀行大阪支店	100,000,000	
投資有価証券		
ユーロ円債	100,000,000	
東京湾横断道路債 券	299,427,123	
株式会社デサント株式(1,522,743株)	76,137,150	
基 本 財 産 合 計	576,137,150	
(2)その他の固定資産		
記念事業積立預金		
住友銀行船場支店	10,000,000	
助成金積立預金		
住友銀行船場支店	33,000,000	
その他の固定資産合計	43,000,000	
固 定 資 産 合 計		619,137,150
資 産 合 計		622,252,996
負 債 の 部		
負 債 合 計		0
正 味 財 産		622,252,996